

2026 年 7 月 9 日 第 3557 回例会

第1グループ合同例会

於： 横須賀商工会議所

ホストクラブ：横須賀西RC

横須賀北RC第2984回／三浦RC第3049回

横須賀西RC第2626回／横須賀南西RC第2199回例会

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary

- <登録・食事> 11:30 司会 堀川 将史 (横須賀西RC)
- <点鐘・開会> 12:30 ホストクラブ会長 高橋 己幸 (横須賀西RC)
- <斉 唱> 「君が代」
- <合 唱> 「奉仕の理想」
- <唱 和> 「四つのテスト」
- <ガバナー補佐挨拶> *第1グループガバナー補佐 高橋 隆一 <卓話>参照
- <各クラブ会長挨拶> *横須賀ロータリークラブ 会長 渡邊 磨 <卓話>参照
- *横須賀北ロータリークラブ 会長 竹 永 薫
- *三浦ロータリークラブ 会長 山 本 達 樹
- *横須賀南西ロータリークラブ 会長 金 子 信 博
- *横須賀西ロータリークラブ 会長 高橋 己幸
- *横須賀ローターアクトクラブ 会長 四分一 陽那汰
- <新会員紹介> *各クラブより新会員を紹介
- <出席報告> *渡邊会長から7月9日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM 出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
106名	92名	51名	41名	6名	61.29%

メイクアップ：植田、小山(夤)両会員 理事役員会出席 小澤、齋藤(夤)両会員 横須賀RAC例会出席
岡田(夤)前田両会員 地区委員会出席

<ニコニコ報告>

- ・国際ロータリー第2780地区ガバナーエレクト 前田 長生 様 地区奉仕事業のため、モンゴルに出張しています。合同例会のご盛会を祈っております。
- ・第1グループガバナー補佐 高橋 隆一 様、ガバナー補佐付幹事 兼城 毅 様 第1グループ三役、会員皆様と共に歩んでまいります。1年間どうぞ宜しくお願いいたします。
- ・横須賀ロータリークラブ 会長・幹事 第1グループのみな様、本年度も宜しくお願い申し上げます。高橋AGを全力で支えて行きます。
- ・横須賀北ロータリークラブ 会長・幹事 本年度、何卒宜しくお願い致します。横須賀西RCの皆様ご設営ありがとうございます。
- ・三浦ロータリークラブ 会長・幹事 皆様こんにちは。三浦RCを一年よろしく願います。横須賀西クラブの皆様、設営ありがとうございます。
- ・横須賀南西ロータリークラブ 会長・幹事 本日の第1グループ合同例会よろしく願います。西クラブの皆様、準備ありがとうございます。
- ・横須賀西ロータリークラブ 会長・幹事 第1グループ合同例会へのご出席とご協力に心より感謝申し上げます。皆様、ごゆっくりとお過ごし下さい。ありがとうございます。

<卓 話>

2026-27年度国際ロータリー第2780地区
第1グループガバナー補佐 高橋 隆一

2026—27年度、国際ロータリーの会長メッセージは「持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)」です。このメッセージは、私たちロータリー会員一人ひとりが「行動する人」として力を合わせ、地域社会と世界に、長く残る良い変化をもたらしていこうという、力強い呼びかけであります。ロータリーは創立以来、世界で、地域社会で、そして自分自身の内面において、持続可能な良い変化を生み出すことを目指して歩みを進めてきました。とりわけ近年は、単発の事業や目に見える成果にとどまらず、その背景にある「ニーズ」と「人」に目を向け、より長期的な視点からインパクトを捉えることが求められています。2025—26年度の会長メッセージ「よいことのために手を取りあおう (Unite for Good)」のもとで強められた絆と協働を土台として、2026—27年度は、そのつながりを「持続可能なインパクト」へと発展させていく一年となります。



国際協議会で会長エレクトのオラインカ・H・ババロラ氏は、「インパクトとは、単なる数字の積み上げではなく、人びとの人生や地域社会に残り続ける影響である」と述べました。会員が歓迎される環境を整え、意味のある奉仕プロジェクトを実施し、ロータリーでの体験を通じて人生が変わったと感じてもらうことこそが、「持続可能なインパクト」を生み出す道であると強調しています。私自身、「インパクト」とは、事業の件数や規模の大小ではなく、出会った人の意識と行動が変わり、その変化が年月を経ても地域に根づいていくことだと考えています。小さなクラブ、小さなプロジェクトであっても、地域の真のニーズを丁寧に見つめ、継続性と協働を大切にすると、その活動はやがて大きなうねりとなっていきます。一つひとつのロータリー・モーメントの積み重ねが、世界と自分自身を静かに、しかし確実に変えていくのだと思います。第2780地区では、地区ビジョン「繋げよう！変化からインパクトに」のもと、各クラブの活動が生み出す変化を、確かなインパクトへとつなげていくことを目指しております。会長メッセージと地区ビジョンは、決して別々のスローガンではなく、相互に響き合う一つの方向性です。すなわち、「よいことのために手を取りあおう」という連帯から生まれた変化を、地域社会に残り続けるインパクトへとつなげていく、そのプロセスこそが、私たちに託された使命であると受けとめています。本年度、私は第一グループガバナー補佐として、中込ガバナーのリーダーシップのもと、各クラブの皆さまと共に、この会長メッセージと地区ビジョンの実現を目指して歩んでまいります。各クラブには、それぞれに誇るべき歴史と伝統があり、地域に根ざした強みがあります。その持ち味を尊重しながら、クラブの将来像を語り合い、会員増強、奉仕プロジェクト、青少年育成、職業奉仕など、あらゆる分野で「変化からインパクトへ」の視点を共有していきたいと考えております。第一グループガバナー補佐としての私の役割は、決して上から指示を出すのではなく、皆さまの思いを伺い、ともに考え、必要な情報や機会をお届けしながら、クラブが自らの力で前進していくことをお手伝いすることだと受け止めています。例会や行事の場で、会員お一人おひとりと直接お話しできることを楽しみにしております。「このクラブがあって良かった」「ロータリーに入って良かった」と心から感じていただける一年となるよう、微力ながら力を尽くしてまいります。結びにあたり、本年度の地区運営と各クラブの活動の一層の充実のために、会員皆さまお一人おひとりのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

皆様、こんにちは。今年度、横須賀RCの会長を務めさせていただきます渡邊磨でございます。今年度は、私に加え、齋藤秀人副会長、八木達也幹事、椿和香SAAという布陣で臨みます。この4名を中心に、温かさに満ち溢れたクラブを目指し、一年間、取り組んでまいります。本日は「3分で年度方針を」とのことですので、先週、クラブの例会でお伝えした方針の中から、特に「奉仕活動」について、改めてお話いたします。まず、「青少年奉仕事業」として、今年度も横須賀学院中学校の生徒さんによる職場体験学習を継続し、地域の若者を応援してまいります。また、インターアクト・ローターアクトクラブとの連携を一層強め、若い世代のエネルギーをクラブの活性化へとつなげてまいります。次に、「国際奉仕事業」では、今年3月、私は前年度のネパールチトワンRCとの共同事業である【安全な飲料水 給水プロジェクト】の完成式典に、参加して参りました。これまでは、往復1時間かけて水を汲みに行っていた村の人々が、蛇口をひねるだけで水が出る生活を手にいれました。村中に笑顔が広がった光景を目の当たりにし、ロータリーの奉仕の意義を肌で実感いたしました。今年度はこの絆を礎に、「エコビレッジプロジェクト」の検討を進めて参ります。このプロジェクトの目的は、極度の貧困にあるネパールの農村地域において、エコツーリズムを通じ、先住民族120世帯の生活を向上させることにあります。期待される効果としては、原住民の経済的な自立だけでなく、環境を守りながら伝統文化を次世代へ継承していく、持続可能な仕組みが整うこととなります。事業として、グローバル補助金の活用にもつなげていきたいと考えております。最後に、「社会奉仕事業」ですが、19回目となる「1万メートルプロムナードクリーン作戦」を継続するほか、障害福祉施設の製品を例会前に販売する「即売会」も毎月実施してまいります。また、ロータリーの最重点課題である「ポリオ根絶」に向けては、11月に予定している募金活動において、様々な工夫を凝らし、より多くの方々へ発信し、多くの支援を募りたいと思います。76周年を迎える横須賀RCが、これからも地域にとって“なくてはならない存在”であり続けられるよう、会員一同、力を合わせて歩みを進めて参ります。結びに、第1グループが2780地区において、さらなる存在感を発揮できるよう、高橋AGを全力で支えることはもちろん、今年度のIMが最高のイベントになるように、盛り上げてまいりたいと思います！一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。





<閉会・点鐘> 13:30 ホストクラブ会長 高橋 己 幸 (横須賀西RC)

週報担当 井 上 智 史